

第39回 (H29.春) 佐鳴湖水質調査の結果



平成29年6月 佐鳴湖地域協議会

アンケート調査の結果

佐鳴湖では、住民の方々にご協力いただき、四季ごとに水のきれいさや生物の豊かさなどを調査しています。平成19年10月から始めたこの調査は、今回で通算39回目となりました。

調査は大きく分けて「アンケート調査」と「簡易水質調査」の2つがあります。「アンケート調査」は、調査地点の水を見たり触れたりしてもらい、評価や感想を回答いただくものです。「簡易水質調査」は現地で簡単な器具を使い、水質をその場ですばやく判定するものです。それらの結果と、静岡県が詳しく測定した水質の調査結果をあわせて、「人と湖沼の豊かなふれあいの確保」や「豊かな生態系の確保」などの視点から、佐鳴湖の環境を評価しています。

視点	調査の内容	
	アンケート調査	簡易水質調査
人と湖沼の豊かなふれあいの確保	ごみの量、水におい湖底の様子、アオコ発生水辺の音、水の透明さ水とのふれあいやすさ	透視度、透明度 700フィルの簡易確認
豊かな生態系の確保	水辺の植生 水生生物	溶存酸素(DO) アンモニア態窒素(NH ₄ -N)
湖沼の基本的特徴の表現		pH、COD

調査日時：平成29年5月20日(土)

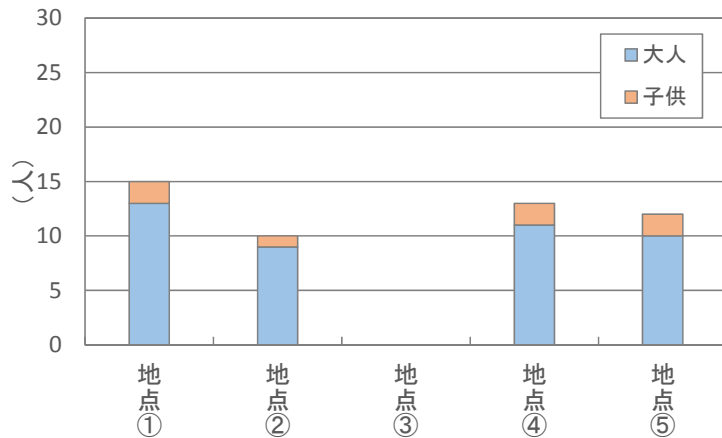
9時~12時

参加人数：29名

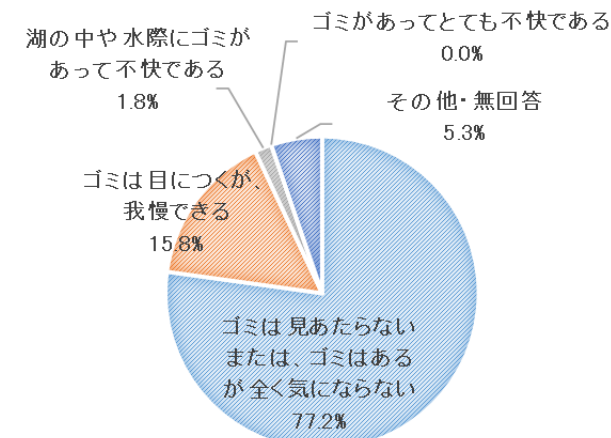
(大人22名、子供4名、不詳3名)

調査地点：4地点

各調査地点の調査人数

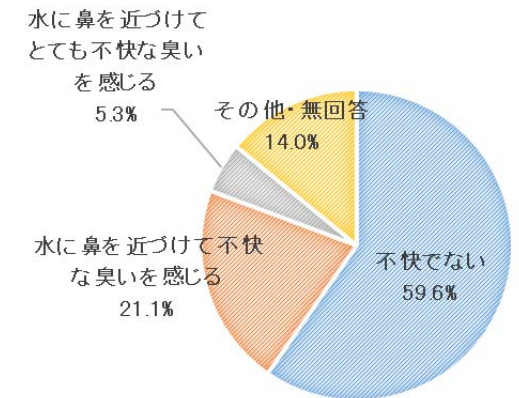


※地点③については、今年度は調査をしていません。
※無回答7名は、グラフに含めていません。



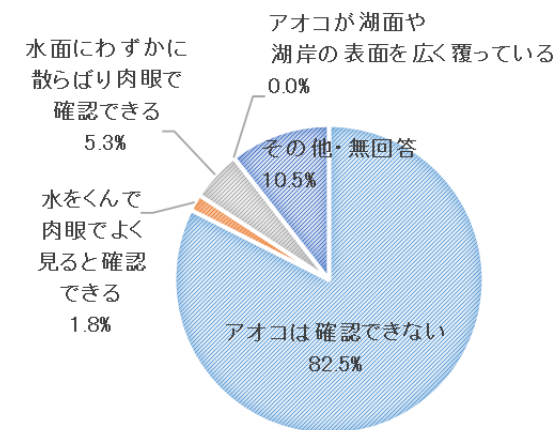
ゴミの量

「ゴミは見当たらない、または全く気にならない」という回答が大半を占めました。



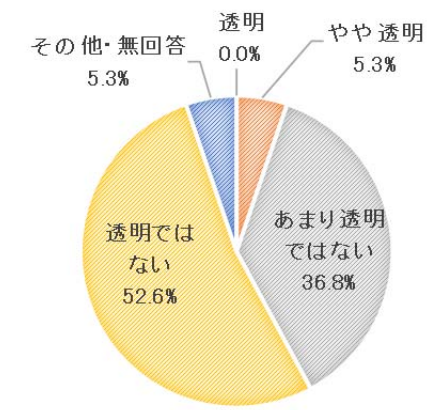
水におい

59.6%の人が水のおいには「不快でない」と答えました。



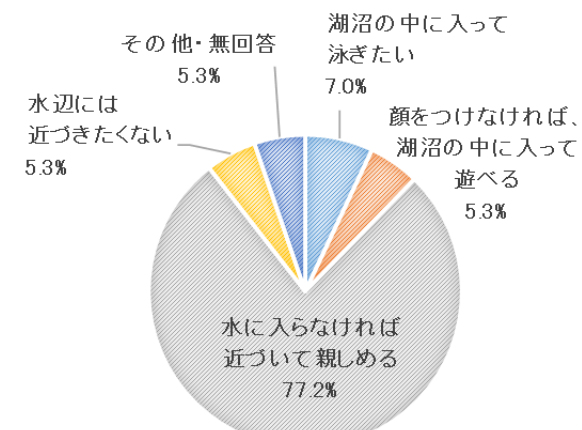
アオコの発生

「アオコは確認できない」という回答が大半を占めました。



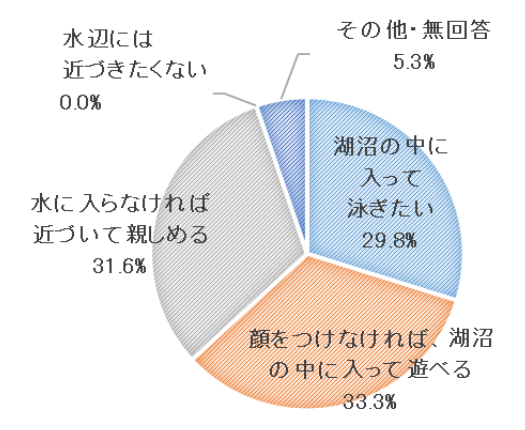
水の透明さ

「透明ではない」または「あまり透明ではない」という回答が多くなりました。



佐鳴湖の水を見て(現状)

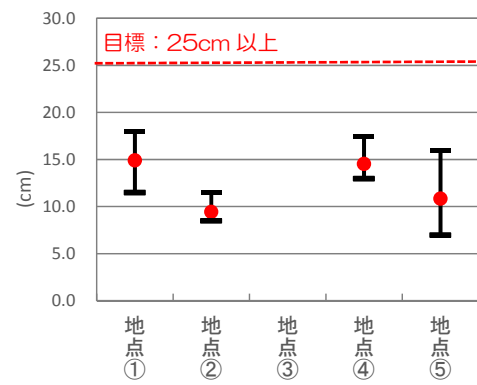
「水に入らなければ近づいて親しめる」という回答が77.2%で最も多くなりました。



将来の佐鳴湖(希望)

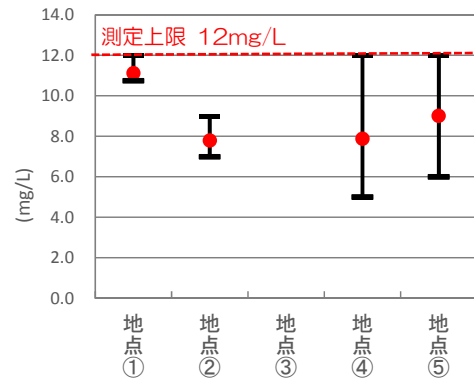
「入って遊べる」と思う湖沼になってほしいという回答が最も多くなりました。

簡易水質調査の結果



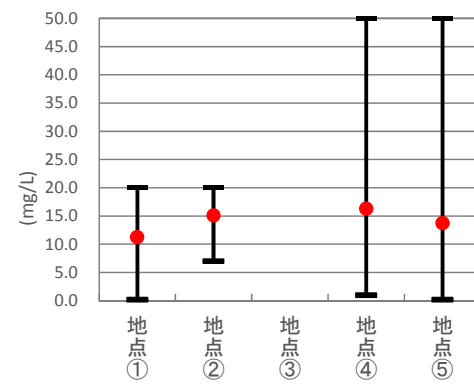
透視度

透視度（水の透明さの程度）の平均値は16cmで、目標の25cmには届きませんでした。



溶存酸素 (DO)

生物の生息に必要な、水に溶けている酸素の量 (DO) は、簡易測定で平均値は8~11mg/Lでした。



化学的酸素要求量 (COD)

有機物による水の汚れの程度を表すCODは、簡易測定で平均値は9~19mg/Lでした。

河川管理者（静岡県）による測定結果

水生生物の採取

ペットボトルで作ったしかけやタモ網を使用して、水辺にすむ生物の調査を行いました。調査を行ったのは地点②⑤の2地点です。

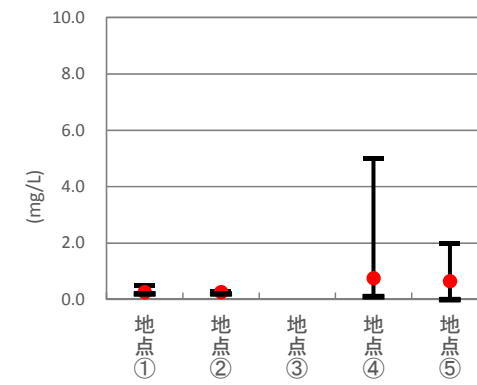
甲殻類はテナガエビ、スジエビ、ヌマエビ、モズガニがとれました。魚類はボラがとれました。淡水の生物だけではなく汽水域に生息する生物もみられ、計9種類が確認されました。



湖沼における新しい水質管理指標（案）による評価

みなさんの調査の結果と河川管理者（静岡県）による測定結果を、平成22年度に国土交通省より発表された評価方法で評価しました。下のグラフは、今回調査した4地点の評価を項目ごとに平均したものです。佐鳴湖の当面の目標は、すべての項目でBランク以上になることです。今回は「透視度」と「水辺の植生」がCランクとなり、目標は達成できませんでした。

Aランクの数は、のべ32項目（8項目×4地点）のうち20項目（全体の63%）でした。



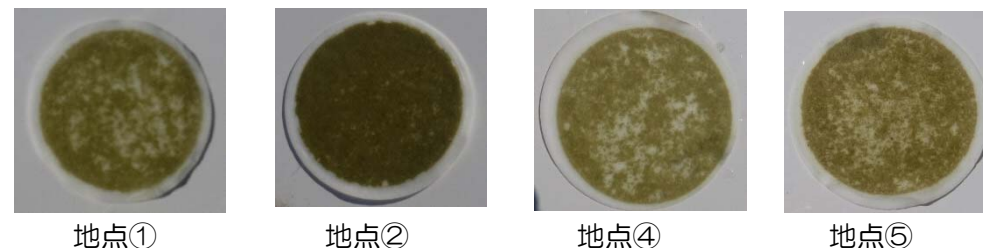
クロロフィルの簡易確認

注射筒とろ紙を使って、200mLの水をろ過しました。ろ紙の色は、いずれの地点も茶色がかかった緑色になりましたが、地点によって若干異なりました。



アンモニア態窒素 (NH₄-N)

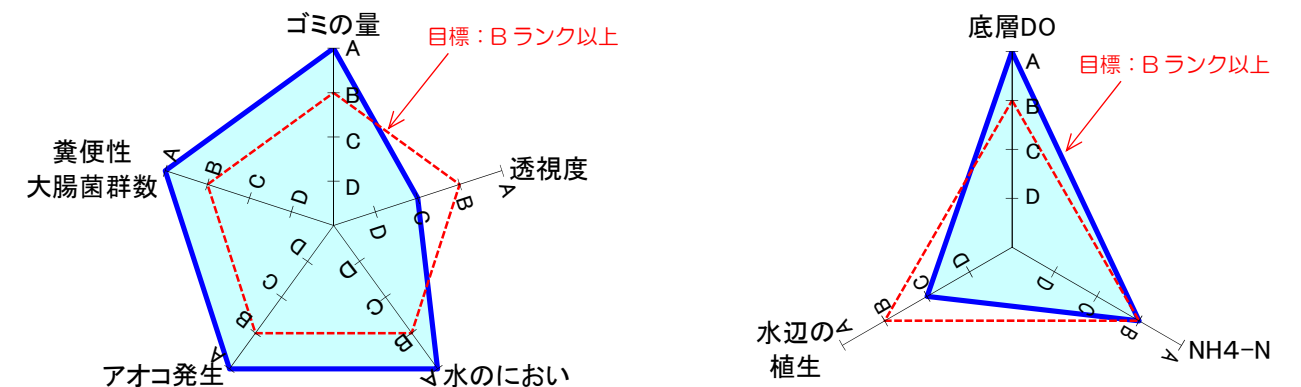
生物の死がいなどが分解されてできるアンモニア態窒素の平均値は、簡易測定で0.2~0.3mg/Lでした。



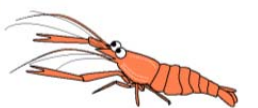
河川管理者（静岡県）による測定結果

測定項目	SS (mg/L)	濁度 (度)	クロロフィル a (μg/L)	糞便性大腸菌群数 (個/100mL)	溶存酸素 DO (mg/L)	化学的酸素要求量 COD (mg/L)	アンモニア態窒素 NH ₄ -N (mg/L)
調査地点①	19	23	44	40	9.9	7.0	0.25
調査地点②	47	32	57	4	9.4	7.9	0.27
調査地点③	-	-	-	-	-	-	-
調査地点④	27	22	37	18	9.9	7.1	0.21
調査地点⑤	28	26	46	20	10.0	7.9	0.16

溶存酸素 (DO)、アンモニア態窒素 (NH₄-N) はおもに底のほうにすむ生物がすみやすい環境であるかを調べるため、底層の水を採取して調べています。



おわりに 今回も多くの方にご参加いただき、ありがとうございました。みなさん非常に熱心に調査をしてくださいました。次回は8月に調査を予定しています。夏休みの最中ですが、自由研究にいかがでしょうか？



この調査結果の詳細については、こちらまでお問い合わせください。

お問い合わせ先：佐鳴湖地域協議会

(事務局) 静岡県浜松土木事務所 企画検査課 (053-458-7266)